

- 問1 地球温暖化対策を目的とした国際的な取り組みにおいて、1997年と2015年の状況を比較した説明として、空欄に当てはまる適切な語句の組み合わせを選びなさい。1997年の枠組みでは（①）に対して削減が義務付けられたが、2015年の（②）では、すべての国が削減目標を定めて取り組むことになった。（2022年 茨城県公立入試 類似）
1. ① 先進国 / ② パリ協定      2. ① 途上国 / ② パリ協定      3. ① 先進国 / ② ワシントン条約      4. ① すべての国 / ② 京都議定書
- 
- 問2 再生可能エネルギーの利用に関する説明文において、地球温暖化対策としての利点がある一方で、自然環境への悪影響が課題として挙げられることがあります。その具体的な内容として適切なものはどれですか。（2022年 京都公立入試 類似）
1. 大規模な発電施設の設置にともない、森林の伐採による地盤の弱体化や生態系への影響が生じること。      2. 発電の過程で放射性廃棄物が発生し、その最終処分場の確保が社会的な問題となっていること。      3. 発電時に発生する窒素酸化物が酸性雨の原因となり、周辺の農作物の成長を阻害すること。      4. ダムを利用した水力発電において、下流の塩害を防ぐために真水の放流を停止しなければならないこと。
- 
- 問3 エネルギー源としての化石燃料と再生可能エネルギーの特性を比較した説明として、最も適切なものを次の中から選びなさい。（2022年 群馬県公立入試 類似）
1. 再生可能エネルギーは、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出を抑えられる利点があるが、発電量が天候などの自然状況に左右されやすいという課題がある。      2. 石炭や石油などの化石燃料は、発電時に温室効果ガスを排出しないクリーンなエネルギーであるが、地下の埋蔵量に限りがある点が課題である。      3. 太陽光や風力などの再生可能エネルギーは、環境への負荷が低くだけでなく、化石燃料と同様に発電量が安定しており天候の影響を受けない。      4. 化石燃料による発電は、自然状況によって出力が変動するため安定供給が難しいが、資源の埋蔵量が無限であるため将来にわたって利用できる。
- 
- 問4 国際連合などで議論されている「持続可能な社会」の実現を目指す背景にある考え方として、最も適切なものはどれですか。（2017年 佐賀公立入試 類似）
1. 環境保護を最優先するため、現代の経済活動や技術開発を一時的に停止する。      2. 将来の世代が利用できる資源や環境を保全しながら、現代の生活も維持・発展させる。      3. 大量生産・大量消費を継続し、発生した環境問題は将来の世代の技術革新によって解決する。      4. 天然資源の利用を一部の先進国のみに限定することで、地球全体の資源消費量を抑制する。
- 
- 問5 エネルギー問題に関する統計資料において、発電方法別のコストの内訳（設備費、運転維持費、燃料費、政策経費など）を確認したとき、太陽光発電や風力発電が火力発電と比べて特に低い割合を示している項目はどれですか。（2018年 徳島公立入試 類似）
1. 燃料費      2. 設備費      3. 政策経費      4. 運転維持費
- 
- 問6 京都市では、持続可能な社会の実現に向けて食品ロスの削減を推進しています。事業ゴミから出る生ゴミのうち、手つかずの食品や食べ残しといった「食品ロス」が約44.3%を占めるといふ現状を踏まえ、京都市が掲げている2030年度までの削減目標と方針について、正しいものはどれですか。（2025年 宮城県公立入試 類似）
1. 家庭ゴミの削減目標（0.5万トン）に対し、事業ゴミの削減目標をその2倍にあたる1.0万トンに設定し、重点的な対策を行っている。      2. 事業ゴミの削減は企業の自主性に任せ、家庭ゴミの削減目標を事業ゴミの2倍の量に設定することで、市民の意識改革を最優先している。      3. 事業活動の停滞を防ぐため、削減目標は家庭ゴミのみに設定し、飲食店や宿泊施設から出る食品ロスは削減の対象から除外している。      4. 事業ゴミと家庭ゴミの削減目標を同じ0.5万トンに設定し、特定分野に偏らない一律の削減対策を講じている。
- 
- 問7 持続可能な社会の形成に向けて、環境の保全と開発の調和を図るための「環境アセスメント（環境影響評価）」の手続きとして、最も適切な説明はどれですか。（2023年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 開発事業の実施前に、周辺環境への影響を調査・予測・評価し、住民の意見などを計画に反映させる。      2. 開発によって公害が発生した後に、被害の状況を調査して原因企業に賠償を命じる。      3. 製品の生産から廃棄までの過程において、リサイクルが正しく行われているかを評価する。      4. 温室効果ガスの排出量を削減するため、国や自治体が工場に対して排出基準を定め、監視を行う。
- 
- 問8 1980年から2016年にかけてのカカオの国際価格が、1トンあたり1,000ドルから3,000ドルの間で激しく変動している統計資料があるとき、フェアトレードが生産者の生活を支援するために採用している買い取り価格の仕組みについて、正しく説明しているものはどれですか。（2018年 岩手県公立入試 類似）
1. 国際価格の変動に左右されにくい最低価格を設定し、一般的に国際価格よりも高い水準で買い取る。      2. 国際価格の変動に合わせて買い取り価格を上下させることで、市場での競争力を維持する。      3. 途上国の製品を先進国で安く販売するため、国際価格よりも常に低い一定の価格で買い取る。      4. 生産者の収穫量が増えるほど買い取り単価を下げることで、市場への供給過多を防ぐ。
- 
- 問9 1997年に採択された京都議定書に関する説明として、その仕組みや当時の状況を踏まえて最も適切なものはどれですか。（2018年 香川県公立入試 類似）
1. 先進国に対して、温室効果ガスの削減に向けた具体的な数値目標を割り当てて義務づけた。      2. 開発途上国を含むすべての国に対し、経済発展を優先させない一律の排出制限を義務づけた。      3. 絶滅のおそれのある野生動植物を保護するため、国境を越えた取引を厳しく規制した。      4. 湿地の保全とその中に生息する動植物の保護を目的として、国際的な協力体制を築いた。
- 
- 問10 火力発電、原子力発電、太陽光発電などの各発電方法の特性について説明した記述のうち、火力発電の短所（デメリット）について述べたものとして正しいものはどれですか。（2019年 奈良公立入試 類似）
1. 化石燃料の燃焼にともない、温室効果ガスを排出して地球温暖化を促進させる点      2. 発電時に二酸化炭素を全く排出しないが、事故の際の安全確保に課題がある点      3. 資源の枯渇の心配はないが、発電コストが他の方法に比べて極めて高い点      4. 出力の調整が容易であるため、余剰電力が大量に発生し廃棄される点
- 
- 問11 発展途上国の生産者が、コーヒー豆やカカオ、綿花などの農産物を輸出する際、国際価格の変動や中間業者の搾取によって不当に低い価格で買い叩かれ、貧困から抜け出せない状況があります。こうした状況を改善するために、生産者が安定した生活を送れるよう、適正な価格で継続的に取引を行う取り組みを何と呼びますか。（2017年 茨城県公立入試 類似）
1. フェアトレード（公正な貿易）      2. 自由貿易協定（FTA）      3. 政府開発援助（ODA）      4. 持続可能な開発目標（SDGs）
- 
- 問12 地球温暖化対策に関する国際的な取り決めについて、2015年に採択された「パリ協定」が、それ以前の「京都議定書」と比較して大きく前進したと言われる理由として最も適切なものはどれですか。（2022年 山口公立入試 類似）
1. 経済発展の途上にある国々も含めた、すべての国が温室効果ガスの削減に取り組む仕組みになったため。      2. 二酸化炭素の排出をゼロにするのではなく、産業革命前からの気温上昇を4度以内に抑えるという緩やかな目標にしたため。      3. 先進国のみが厳しい削減義務を負うことで、発展途上国の経済成長を妨げないように配慮したため。      4. 希少な野生動植物の保護や、湿地の保全といった多角的な環境保護を義務付ける内容になったため。

## 答え合わせ・解説

問1	答え 1 ① 先進国 / ② パリ協定	1997年に開催されたCOP3で採択された京都議定書では、日本や欧米などの先進国に具体的な削減率が割り当てられ、義務化されました。これに対し、2015年のCOP21で採択されたパリ協定は、歴史上はじめて途上国を含むすべての国が参加する公平な枠組みとして成立した点が大きな特徴です。
問2	答え 1 大規模な発電施設の設置にともない、森林の伐採による地盤の弱体化や生態系への影響が生じること。	再生可能エネルギーは環境に優しいイメージがありますが、広大な面積を必要とするメガソーラー（太陽光発電所）の建設では、山林を切り開くことによる土砂災害のリスク増加や、野生動物の生息地の破壊が懸念されています。エネルギー問題の解決には、温暖化対策だけでなく、地元の生態系保護や安全性の確保とのバランスが求められます。
問3	答え 1 再生可能エネルギーは、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出を抑えられる利点があるが、発電量が天候などの自然状況に左右されやすいという課題がある。	現代のエネルギー政策において、化石燃料と再生可能エネルギーの比較は重要です。石炭や石油などの化石燃料は、燃焼時に二酸化炭素などの温室効果ガスを排出し地球温暖化の原因となるほか、埋蔵量に限りがある（枯渇性資源）という問題を抱えています。一方、再生可能エネルギーは温室効果ガスの排出がほぼなく環境負荷は低いものの、太陽光や風力などは天候に左右されるため、安定した電力を供給するための仕組み作りが不可欠となっています。
問4	答え 2 将来の世代が利用できる資源や環境を保全しながら、現代の生活も維持・発展させる。	かつての高度経済成長期のように経済発展のみを追求すると、深刻な公害や資源の枯渇を招き、将来の世代が生活できなくなる恐れがあります。そこで、環境保全と経済発展を対立するものとして捉えるのではなく、双方が成り立つような社会の仕組みを作ることが国際的な共通目標となっています。この考え方は、2015年に採択されたSDGs（持続可能な開発目標）の土台にもなっています。
問5	答え 1 燃料費	火力発電（石炭・天然ガス）は、発電のために継続的に化石燃料を消費するため、発電コストに占める燃料費の割合が大きくなります。これに対し、再生可能エネルギーは自然の光や熱、風の力を利用するため、原材料としての燃料を購入する必要がなく、コスト内訳における燃料費をゼロもしくは極めて低く抑えることができます。
問6	答え 1 家庭ゴミの削減目標（0.5万トン）に対し、事業ゴミの削減目標をその2倍にあたる1.0万トンに設定し、重点的な対策を行っている。	京都市の統計資料によると、事業ゴミの中に占める食品ロスの割合が非常に高いことが判明しています。このため、2030年度に向けた計画では、家庭ゴミの削減目標である0.5万トンに対し、事業ゴミについてはその2倍にあたる1.0万トンという高い削減目標を掲げ、事業者向けの対策を強化しています。
問7	答え 1 開発事業の実施前に、周辺環境への影響を調査・予測・評価し、住民の意見などを計画に反映させる。	環境アセスメントの最大の特徴は、事業が始まる「前」に行われる予防的な措置である点にあります。専門的な調査・予測・評価の結果を公表し、一般住民や専門家から意見を聴くことで、より環境に配慮した開発計画へと修正していくプロセスが含まれます。これにより、開発と環境保全のバランスを保つことが目指されています。
問8	答え 1 国際価格の変動に左右されにくい最低価格を設定し、一般的に国際価格よりも高い水準で買い取る。	発展途上国の生産者は、国際価格の激しい変動によって収入が不安定になりやすく、時には生産コストを下回る価格での取引を強いられることがあります。フェアトレードでは、生産者の持続可能な生活を支援するため、市場価格が暴落しても保証される「最低価格」を設けています。また、一般的に国際価格よりも高く買い取ることで、生産者が適切な賃金を支払い、教育や医療などの地域開発に資金を充てられるよう配慮されています。
問9	答え 1 先進国に対して、温室効果ガスの削減に向けた具体的な数値目標を割り当てて義務づけた。	京都議定書は、歴史的に温室効果ガスを多く排出してきた先進国の責任を重視し、法的拘束力のある削減目標を定めたものです。当時は途上国に削減義務を課さなかったため、のちに中国やインドなどの排出量が増加する中で実効性が課題となり、2015年のパリ協定ではすべての国が削減目標を持つ仕組みへと変更されました。
問10	答え 1 化石燃料の燃焼にともない、温室効果ガスを排出して地球温暖化を促進させる点	火力発電は、石油や石炭、天然ガスといった限りのある資源（化石燃料）を燃焼させるため、二酸化炭素の排出が避けられません。これは再生可能エネルギーである太陽光発電や風力発電などにはない、火力発電固有の大きな短所です。入試では、出力調整が容易であるという「長所」と、温室効果ガスの排出という「短所」をセットで理解しておくことが重要です。
問11	答え 1 フェアトレード（公正な貿易）	単なる一時的な援助ではなく、対等な立場で経済活動を行うことで、発展途上国の生産者の自立を支援する仕組みです。消費者がこの取り組みによる製品を積極的に購入することは、国際社会における貧困解決への貢献につながります。
問12	答え 1 経済発展の途上にある国々も含めた、すべての国が温室効果ガスの削減に取り組む仕組みになったため。	京都議定書の時代は、排出削減の義務を負うのが主に先進国であったため、急速に工業化が進み排出量が増大した中国やインドなどの発展途上国が枠組みから外れているという課題がありました。パリ協定では、地球全体の課題としてすべての国が自ら削減目標を立てて参加する方式を採用したことで、より実効性の高い国際協力の形が作られました。